

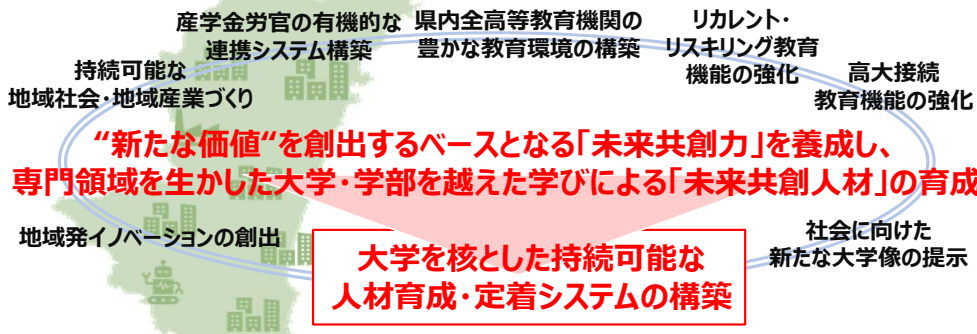
概要

産学金労官の連携体である地域連携プラットフォームとしての「宮崎県産業人財育成プラットフォーム」の更なる機能強化を図るとともに、地域の“学が結集”した大学等連携推進法人を組織することで、大学・学部が横断的に交わり、これまで以上に地域と密接に連携した「未来共創教育プログラム」を構築し、「生産性の高い第1次産業」、「フードビジネス」、「DX・AI」、「グローバルビジネス」、「地域医療」、「地域獣医療」、「地域教育」等、多様な分野において持続可能な地域づくりを支える多様な「未来共創人材」を育成する。

【本事業の先進性】

- ① 4 高等教育機関とも、基礎教育の抜本的な見直しを伴う全学的な学位プログラム改革であり、地域の高等教育機関のモデルとなる。
- ② 高等教育コンソーシアム宮崎内の他大学等にも水平展開する可能性が高い。
- ③ 「産業人財育成PF」と2つの地域連携プラットフォーム（「企業成長促進PF」「イノベーション共創PF」）との連携により、イノベーションの創出等、二次的な波及効果を生み出す。
- ④ 宮崎大学の新キャンパス（錦本町）を有効に活用することにより、地域・企業等との連携、大学間・高大連携が大きく進展する。
- ⑤ 大学を核とした持続可能な人材育成・定着システムの構築に繋がる。

目的・効果



【地域連携プラットフォーム】 宮崎県産業人財育成プラットフォーム 宮崎県の産学金労官 13 機関で組織する「Do & Think Tank」体制（2016年設立／運営事務局：宮崎大学）



- ① 時代の変化に目を向け、柔軟に戦略立案・意思決定できる人材
- ② 事業拡大やイノベーションに挑戦し企業や地域等を支える人材
- ③ 自ら主体的・積極的に価値を創造するチャレンジマインドを持った人材
- ④ 横断的で広い視野を持ち、多様な人と繋がり巻き込むことのできる人材

「未来共創力」を構成する、3つの身に付けるべき資質・能力

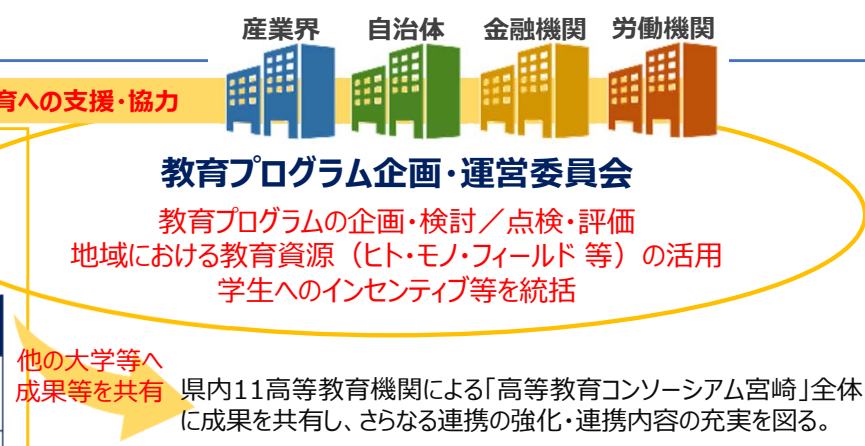
- 科学的思考力
- 俯瞰力・構想力
- 繋ぐ力・構想実現力

※①～③はR2年2月のPF会議で決定、④及び資質・能力は本事業を踏まえ、R4年5月のPF会議で追加決定

地域で求められる多様な人材の育成に向けた教育の展開【SPARC学生 210名育成】

大学等連携推進法人（R6年度前半設立予定）事業実施に当たりSPARC事業運営委員会を組織

全大学が基礎教育を抜本的に改革。基礎教育で身に付く能力（特に「未来共創力」）が専門教育に有機的に繋がり、各々の専門性をさらに広げ・深めるための文理・分野融合教育、協働実践教育を取り入れた個性的な「9つの学位プログラム」を構築。さらに教学マネジメントシステムを強化し、各学長のリーダーシップの下、本事業を大学全体の教育改革に位置付けて推進する。



宮崎大学	南九州大学	宮崎国際大学	宮崎学園短期大学
SPARCプログラム推進プロジェクトチーム	SPARCプログラム推進委員会	SPARC連携教育プログラム組織委員会	SPARC連携教育推進委員会
地域資源創成学部、農学部、工学部、教育学部、医学部	健康栄養学部 環境園芸学部	国際教養学部	現代ビジネス科
①「未来共創力」を養成するため、STEAM教育を柱とした基礎教育の全学的改革 ②各専門分野の特色を生かした学士課程プログラムを構築	①教養教育を、基礎教育（総合領域）、南九ハリアルツ（複合領域）、地域共生に再編 ②農業生産分野・食品加工分野において、宮崎大学と連携	①「地域学」を強化することで、より地域に根差したグローバル人材を育成 ②連携開設科目も活用し、「ESTEAM教育」を充実	①一般教育に数理・DS等の理系・グローバル教科を拡充 ②専門教育で地域研究・アントレプレナーシップ科目等を充実 ③四年制大学への接続を強化

【将来に向けた展開】錦本町・新キャンパス「みやざきイノベーションハブ」

令和7年4月に宮崎市の中心地にオープン。「学び」「共創」「成長」「発信」をコンセプトに、「人材の育成」と「イノベーション創出」が循環するエコシステムの構築を目指す。

地域をフィールドにしたプロジェクトデザイン、アントレプレナーシップ等のPBL科目群	連携開設科目【40科目以上】 STEAM教育のベースとなる科目群	各大学・各学部の専門の特色を生かした科目群
未来共創科目 構想・デザイン系、協働・創造系	課題発見科目 数理・データサイエンス系、自然・生命・技術系 人文・社会・芸術系、多言語・多文化系 等	専門分野科目 農学系、経営・経済系、グローバルビジネス系 等

